

SK32

操作マニュアル

Ver.2.0.1



スタンドの形状などは記載と異なる場合がございます。
その場合は、再生／配信設定用のマニュアルとしてご活用ください。

目次

各ページの右上の番号をご確認ください。

注意事項 ▶ 01

アイテム一覧 ▶ 02

組立 ▶ 03 ~ 04

再生 ▶ 05 ~ 06 [05 リモコン / 06 USB・オートプレイ機能

配信設定 ▶ 07 ~ 08 [07 設定画面 / 08 アニメーション・秒数設定

コンテンツ作成 ▶ 09 ~ 11 [09 基本事項 / 10 コンテンツ作成 / 11 コンテンツ入替]

サポート ▶ 12

※ご利用にあたりマニュアルは必ずお読みください。

注意事項

必ずお読みになってから、ご使用ください。

□製品のご利用について

- 1日の稼働は16時間までを目安としてください。
- 24時間フル稼働させると劣化／故障の原因となります。
- 長時間お使いいただく場合は、1日1回リモコンによる電源ON/OFFをしてください。

□安全のための注意事項

- この製品はユーザー様の安全を保証できるように設計されておりますが、感電やその他の危険を防ぐため、以下の事項をお守りください。
- 長時間、直射日光のあたる環境での使用は避けてください。
- 屋外に放置せず、使用しない場合は屋内か軒下に移動をさせてください。
- 物で製品の通気口を塞いだり、物を通気口の中に入れてたりしないでください。
- 油、煙、埃を避け、高い温度や湿気が多い場所に置かないでください。
- 電源コードの抜き差しを行いやすい場所に設置してください。
- 電源コードや他のコードが正しく、かつしっかりと差込まれているか確認してください。
- 感電の原因となりますので、濡れた手で電源コードに触れないでください。
- 感電や火災の原因となりますので、損傷した電源コードや負荷がかかりすぎたACコンセント、延長コードなどを交換する際はサービスエンジニアにご依頼ください。
- 加熱による火災の原因となりますので、たこ足配線は行わないでください。
- 液晶画面を傷つける原因となりますので、周囲で尖った物を使ったり、置いたりしないでください。
- 火災や故障の原因となる内部に溜った埃等の清掃は、ご自身ではなさらず、サービスエンジニアにご依頼ください。
- リモコンは防水仕様でないため、屋内で保管してください。
- 製品は安定した場所に設置してください。
- 製品の移動や設置は、二人以上で行ってください。
- 製品に寄りかかったり、ぶつかったりしないようご注意ください。
- 製品を長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 破損・故障の場合は、ご自身で修理なさらず、サービスエンジニアにご依頼ください。
- 製品の移動には、手押し車やローラの付いた什器を用いて行ってください。
その際には、転倒による怪我や破損にご注意ください。

□画面の残像に関する注意事項

- 原因
 - 液晶画面の特性上、同一の停止画面を長時間表示すると画面に残像が起きます。
長い間放置すると、永続的に残像が残りますので、ご注意ください。
- 対策
 - 一時的な残像であれば、数分から数時間白い画面や動画を表示することで軽減することが出来ますが、液晶の特性上、永続的な残像の場合は完全に消すことは出来ません。
継続的に同一の停止画面を表示する必要がある場合は、1時間に2-3分程動画を挟むことで、残像の発生を避けることが出来ます。
残像の発生原因は表示される停止画像の明るさと表示時間によりますので、合わせて、明るさを抑えて表示することをお勧めします。
- 注意
 - 以上の内容は、保証の対象となりません。

□保証対象

- 当説明書に記載されている使用方法／注意事項以外での故障・破損は保証対象外となる場合があります。

アイテム一覧

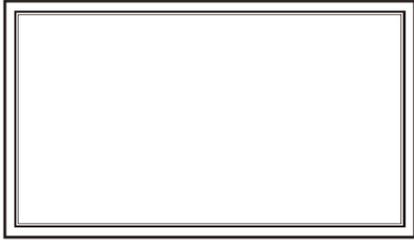
不備不足がないかをご確認ください。



お客様にご用意いただくもの

・プラスドライバー・マイナスドライバー・パソコン (Windows)

【 A モニター箱内 ※SK32-S/K 共通 】



USBメモリは付属のものをお使いください。
別途ご用意される場合は以下推奨品をお使いください。

- A-DATA : AUD310-8G-RBK
- SanDisk : SDCZ33-008G-B35



モニター x 1

取扱説明書 (本書)

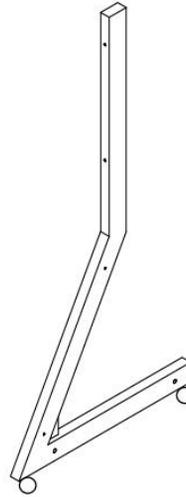
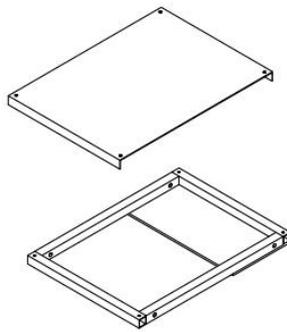
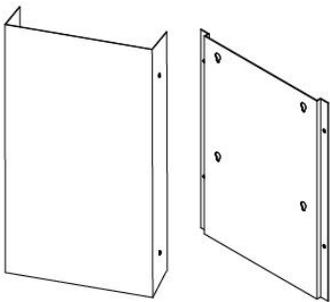
保証書

リモコン x 1

USBメモリ x 1

USB差込口用
防水キャップ x 1

【 B-1・SK32-S スタンドセット 】 ※SK32-Kには付属されていません。



六角ネジ (大) x 4



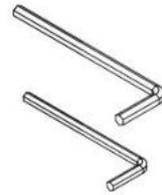
ナット+ワッシャー x 4



マイナスネジ x 4



六角ネジ (小) x 8



六角レンチ (大) x 2

六角レンチ (小) x 2

スパナ x 1

前面カバープレート x 1

底面カバープレート x 1

モニター固定プレート x 1

底面ステージ x 1

側面フレーム x 2

【 B-2 : SK32-K 壁掛金具セット 】 ※SK32-Sには付属されていません。



プレート用ネジ 4本



壁面への取付に使用されるビスや
アンカーはご用意ください。

モニター用プレート x 1

壁面用プレート x 1

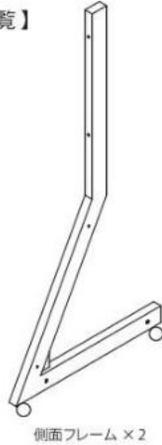
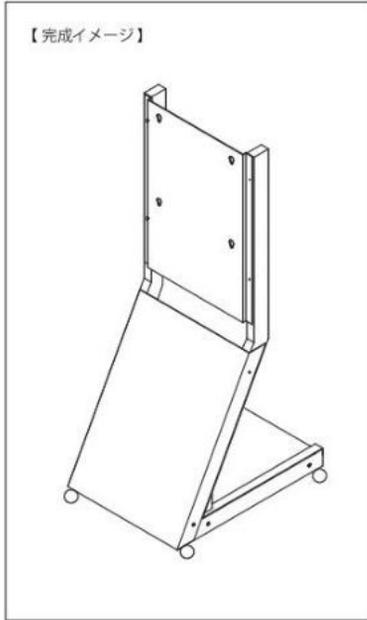
【屋外用デジタルサイネージ スタンド組立マニュアル】

※必ず2名以上で作業を行ってください。

【アイテム一覧】

【ご用意いただくもの】

- ・プラスドライバー
- ・マイナスドライバー



側面フレーム × 2



モニター固定プレート × 1



前面カバープレート × 1



底面カバープレート × 1
底面ステージ × 1

- 六角ネジ (大) × 4
- ナット+ワッシャー × 4
- マイナスネジ × 4
- 六角ネジ (小) × 8
- 六角レンチ (大) × 2
- 六角レンチ (小) × 2
- スパナ × 1

【POINT】
キャスターのレバーでロックの ON/OFFができます。



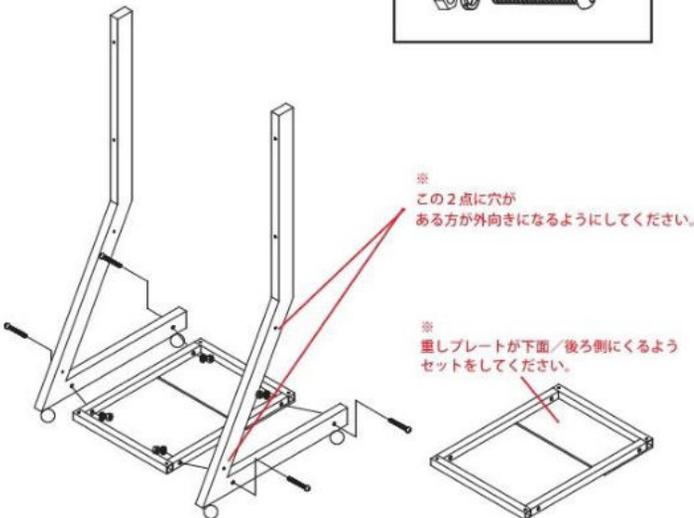
① 側面フレームと底面ステージをネジで止めます。六角レンチ (大) とスパナを使用します。

【POINT】

8割程度までネジを締めてください。
締めすぎると次行程の「底面カバープレート」が
取付けにくくなります。
※最後はしっかりと締めてください。

【使用するネジ】

- 六角ネジ (大) × 4
- ナット+ワッシャー × 4

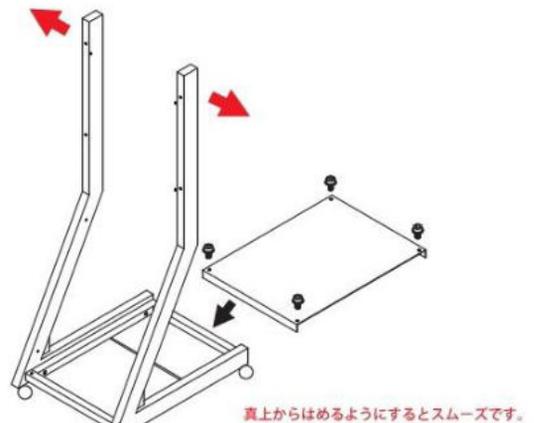


② 底面カバープレートをネジで止めます。六角レンチ (小) を使用します。

【POINT】

側面フレームの上部を外側に
少し広げるとプレートがスムーズに
取付けられます。

- #### 【使用するネジ】
- 六角ネジ (小) × 4



→次ページへ続く

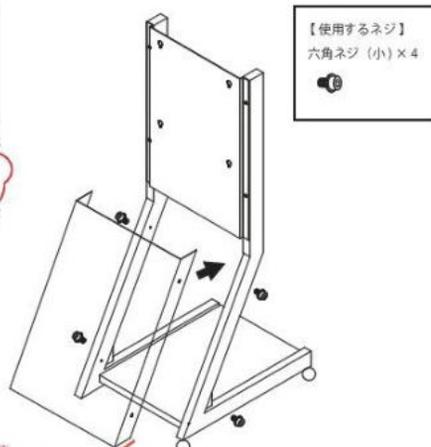
組立マニュアル② SK32-S(続き)／SK32-K

③ モニター固定プレートをネジで止めます。

④ 前面カバープレートをネジで止めて完成です。



【ポイント】
マイナスドライバーや1円硬貨などで
締め付けを行ってください。



※ ナナメカットが
下にくるようにしてください。

※ 最後に全てのネジの増締めを行い、
ゆるみがないかチェックを行ってください。

⑤ モニター本体のネジをゆるめ、4つの穴に合わせてはめ込みます。その際、右下図のようにネジがはまったことを確認してから、ドライバーでネジを増締めしてください。



【屋外用デジタルサイネージ 壁掛金具 組立マニュアル】

※ 必ず2名以上で作業を行ってください。

【ご用意いただくもの】
・ プラスドライバー
・ 壁面への取付に使用される
ビスやアンカーなど

【アイテム一覧】



モニター用プレート × 1



壁面用プレート × 1



プレート用ネジ 4本

① モニター側のネジを使い、モニター背面にモニター用プレートを取付けます。

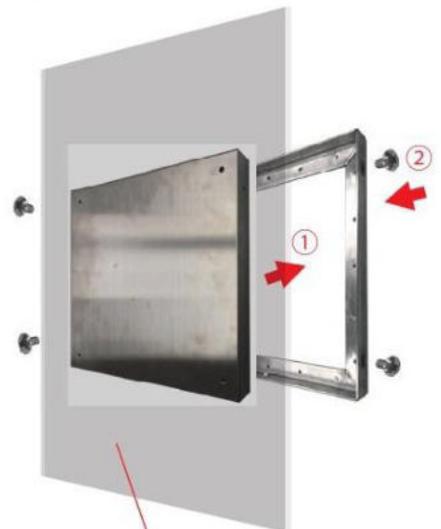


※ 下面に水抜き穴がくるようにしてください。

② ご用意いただいたビス・アンカー等を使い、壁面用プレートを壁に取付けます。
※ 壁の下地に合ったビス・アンカー等をご用意ください。
※ 6mm穴が20カ所に開いています。



③ [モニター用プレート]を[壁面用プレート]にはめ込み ①、側面4カ所をプレート用ネジで止めたら完成です。



※ モニター用プレートがモニターに付いている状態

【はじめに】

1日の稼働は16時間までを目安としてください。

24時間フル稼働させると劣化/故障の原因となります。

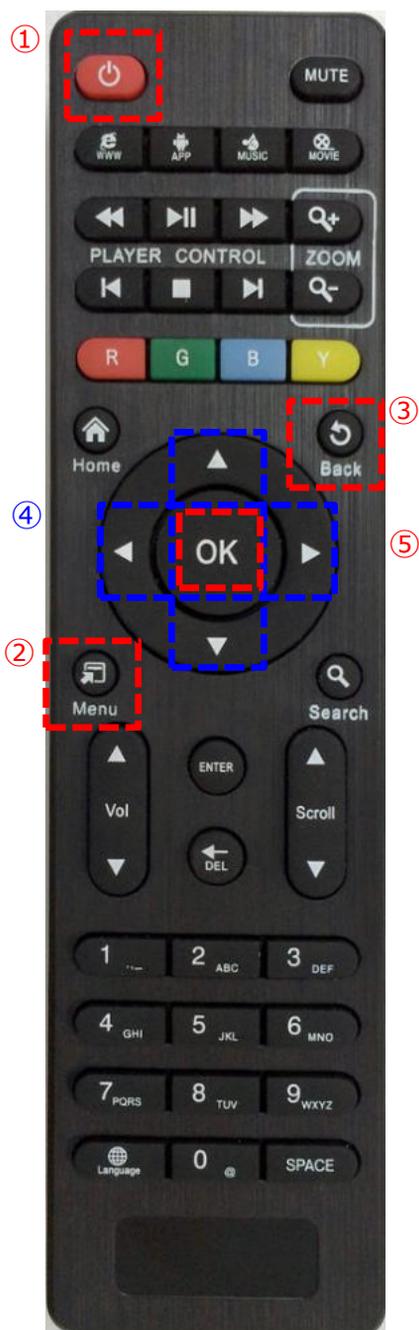
長時間お使いいただく場合は、1日1回リモコンによる電源ON/OFFをしてください。



【STB用リモコンでよく使うボタン】

※番号記載以外のボタンは、本製品では使用しません。

リモコンA (STB用リモコン)



① パワーボタン

電源のON・OFFに使います。

② メニューボタン

「設定画面」を使う際に使います。

③ リターンボタン

前の画面に戻る際に使います。

④ 十字ボタン

選択する際のカーソル移動に使います。

⑤ OKボタン

選択/決定時に使います。



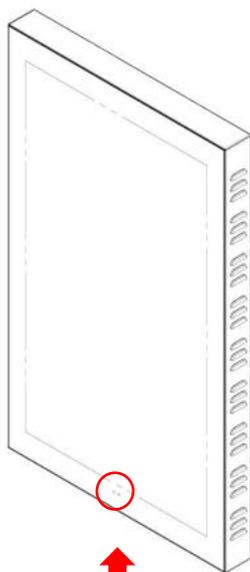
リモコンは、受光部に向けて操作をしてください。

ディスプレイに向けても操作を感知しないことがあります。

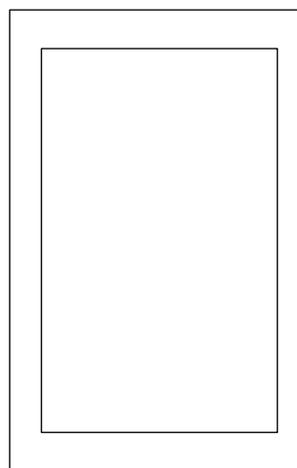


USBの挿し口は2つあります。

左をUSBメモリ用、右をマウス用として使用してください。



受光部

USB マウス
メモリ

【配信時】

1. パソコンでUSBメモリにコンテンツデータを入れます。

※1: パソコンはWindowsをご利用ください。

※2: データの入れ方/コンテンツの作り方の詳細はP09をご確認ください。

2. USBを左側のUSBポートに挿し、キャップをかぶせてください。

キャップは2通りあります。

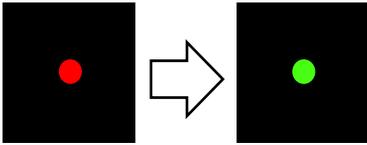
A: USBメモリを挿して使う場合 → 防水キャップを使用

B: 本体にデータを記憶させて使う場合 → 本体付けのキャップを使用

※: 本体にデータを記憶させる方法はP07-Cをご確認ください。

3. 電源コードをコンセントに挿してください。

この時、受光部のランプが「赤」から「緑」に変わります。



4. 1分程待つとコンテンツデータが再生されます。(オートプレイ機能)

※: 再生が始まるまでは、リモコン操作を一切行わないで下さい。

A: 防水キャップ



B: 本体付けキャップ



【本体にデータを記憶される場合の流れ】

1. USBを差す
2. 本体にデータを記憶させる
3. USBを抜く
4. 本体付けキャップを取付ける。



【終了時】

1. (配信中に)リモコンのリターン(バック)ボタン①を押し、アプリを閉じます。
2. パワーボタン②を押してOFFにします。
3. コンセントから電源コードを抜いて終了です。



設定画面① 画面説明

B：設定画面について

設定画面を開きます。

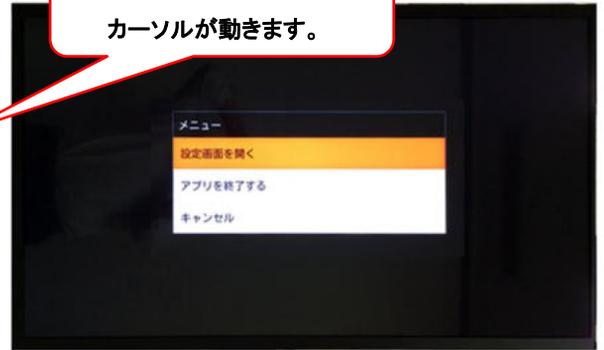
→[menu ボタン]を押す

→メニューで「設定画面を開く」を選び、

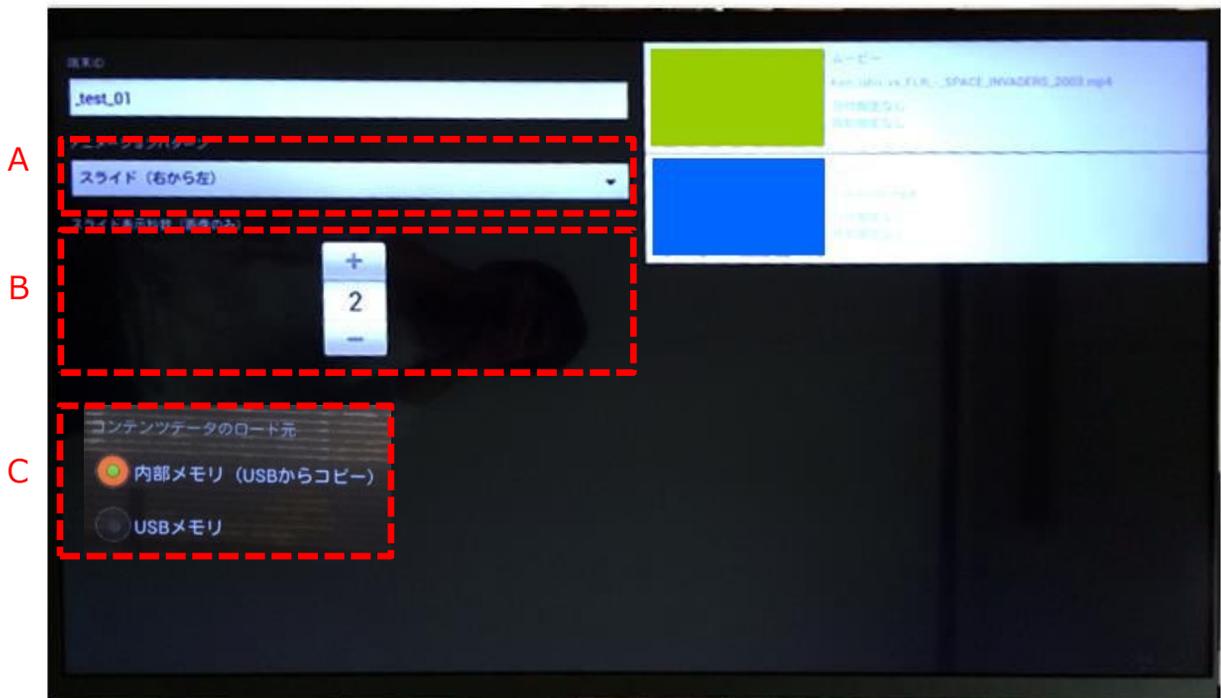
[OKボタン]を押す。



十字ボタンの上下で
カーソルが動きます。



設定画面



A スライドのアニメーションパターン設定

ここで、スライドのアニメーションが選べます。→ 詳細は P08 へ

B スライドの秒数設定

ここで、スライドの秒数が選べます。→ 詳細は P08 へ

C コンテンツデータのロード元

[内蔵メモリ(USBからコピー)] 選択するとUSBのデータがSTBに保存され、USBを抜いても配信されます。

※選択し「OK」ボタンを押した後、「Back」ボタンで配信画面に戻ってください。

※「データがコピーされました」表示されると、STBにコンテンツデータが保存されます。

[USBメモリ] USB内のデータが配信されます。



Cについて

[USBメモリ] での配信を
推奨しております。

[内蔵メモリ]を使用した場合、
配信速度が遅くなる場合があります。

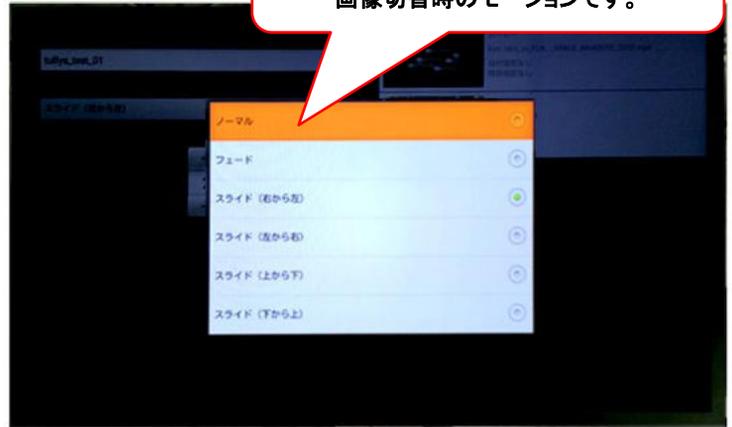
設定画面② アニメーション / 秒数設定

① スライドのアニメーションパターン設定

6種類のアニメーションが選べます。
リモコンの[十字ボタン]で選び、
[OKボタン]で決定となります。

ノーマル / フェード / スライド(4方向)

※ モニター本体が横向きをベースとしているため、
縦向きの場合は「画面左」が「上」になります。



② スライドの秒数設定

ここで、1画像の切替時間を選べます。
(単位は「秒」です。)

「+」を選んで[OKボタン]を押すと
秒数が増え、「-」を押すと秒数が減ります。
(選べる秒数は、1～120秒の間です。)



③ 設定完了の仕方

[menuボタン]を押し、
「スライド再開」で[OKボタン]を押します。



コンテンツ配信① 基本事項



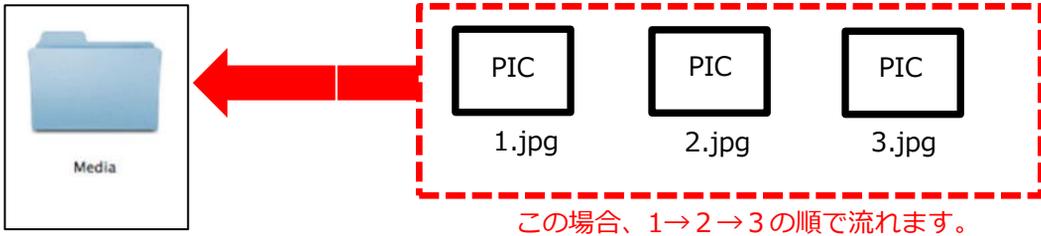
以下作業は、Windowsのパソコンをお使いください。
Macで作業した場合、USBの故障及び動作不良が起きる可能性があります。

【ファイル名の設定】

配信コンテンツは「ファイル名の数字順」で流れます。

流す順番に数字をファイル名にし、「Media」フォルダに入れてからUSBにコピーしてください。

※「Media」フォルダは、デスクトップ上で右クリック⇒「新規作成」⇒「フォルダ」を選択し、ファイル名を「Media」にして作成できます。



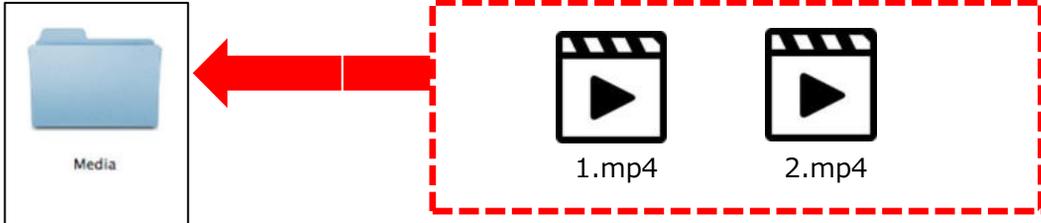
コンテンツが1つだけの場合、リピート再生をすることができません。

【必要なコンテンツ数】

2つ以上のコンテンツを入れてください。

POINT

1つのコンテンツをリピートする場合、同じコンテンツを2つ用意しファイル名を1と2にすることで、リピート再生できます。



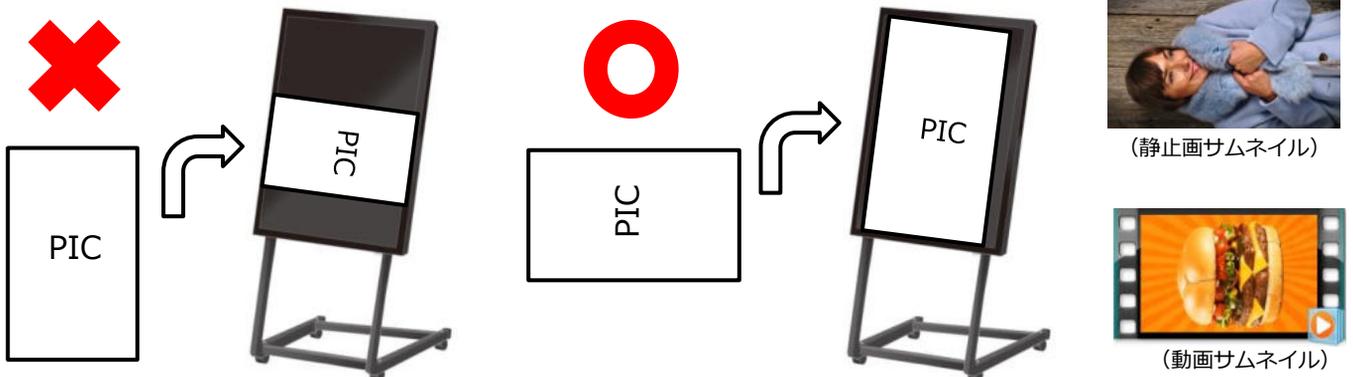
【コンテンツの向き】

モニターを縦長でお使いになる場合には、左90°回転したコンテンツを準備する必要があります。

※静止画は縦長に作成した後に、左90°回転させます。

※動画は縦線用のコンテンツとして準備する必要があります。

【左90°コンテンツイメージ】





静止画／動画ファイルのファイルサイズが大きいと正しく動作できない場合がございます。

ファイルは以下記載のサイズに合わせて作成ください。

○静止画ファイル基準

ファイル形式：JPG / PNG

※その他の形式では表示されません。

推奨ファイルサイズ：1920 x 1080 pixel

※比率は16:9となります。

推奨ファイル容量：2MB以内 / 1ファイル ※容量が大きいと、動作不良の原因となります。

※「ビットの深さ」は「24」までとなります。

※「ビットの深さ」は、静止画コンテンツ上で右クリック⇒プロパティ⇒詳細から確認できます。

○動画ファイル基準

ファイル形式：MP4 ※MP4を推奨 AVI / MOVにも対応はしておりますが、配信できないことがあります。

推奨ファイル容量：100MB以内 / 1ファイル ※容量が大きいと、動作不良の原因となります。

【基準レート】

タイプ① ファイルサイズ：1920 x 1080 / ビットレート：6000 / フレームレート：24

タイプ② ファイルサイズ：1920x 1080 / ビットレート：2500 / フレームレート：30

動画容量の目安(ファイル合計)：

内部メモリ：～100MB ※ 内部メモリへのコピーは100MBで30秒程かかります。この間、画面は黒くなります。

USBメモリ：～500MB ※ 1ファイルあたりのデータは100MB以内としてください。

※ データが重いと次のコンテンツが映るまでに時間がかかる場合があります。

※ 15分以上の動画や1ファイル100MB以上の動画は動作不良の原因となるためお控えください。

○コンテンツ作成について

コンテンツは、編集ソフトを使い作成するか、コンテンツ制作会社へご依頼ください。

編集ソフトご紹介 ※例としてご紹介のため、推奨ではございません。

・静止画：ペイント

・動画：ムービーメーカー

※こちらのソフトは簡易的にサイズ調整ができるソフトとなっております。

使い方は、各ソフトのマニュアルをご確認ください。

※ソフトのダウンロードは一切の責任を負いかねますので、ご自身の判断で行ってください。



コンテンツの入替は、USBを一度フォーマットしてください。
フォーマットしないと、データがUSBのメモリ内部に残ることがございます。

【 USBフォーマット方法 】

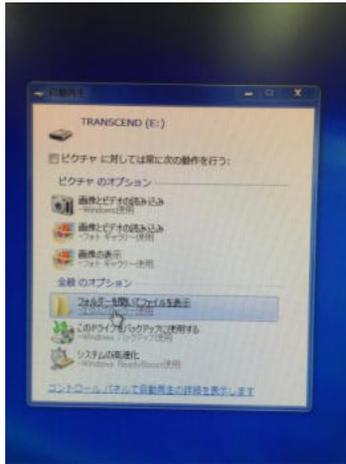
1.USBをパソコンに差ししてください。

※パソコンは「windows」のみとなります。



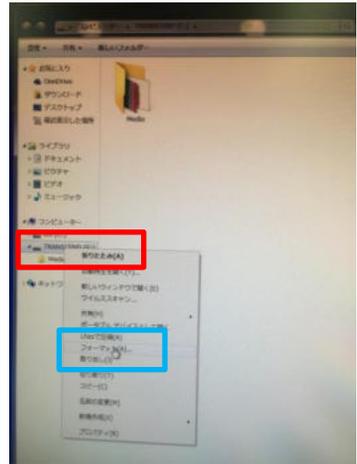
2.USBを差込むと下記の画面が表示されます。

「フォルダを開いてファイルを表示」を選択してください。

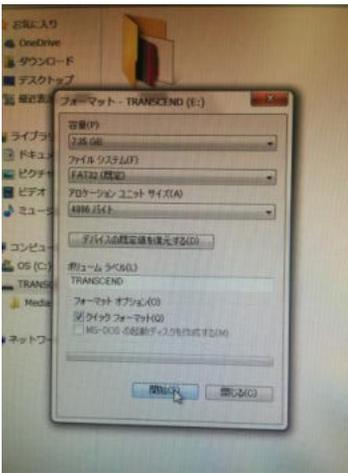


3.赤枠部にカーソルを合わせ、右クリックしてください。

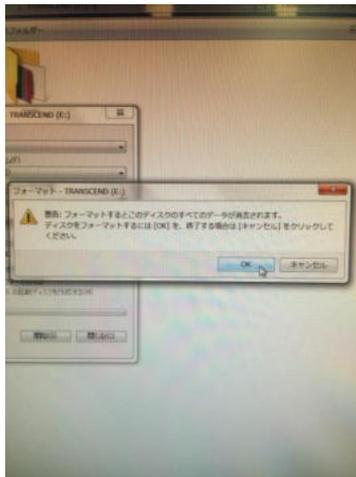
青枠部のフォーマットをクリックしてください。



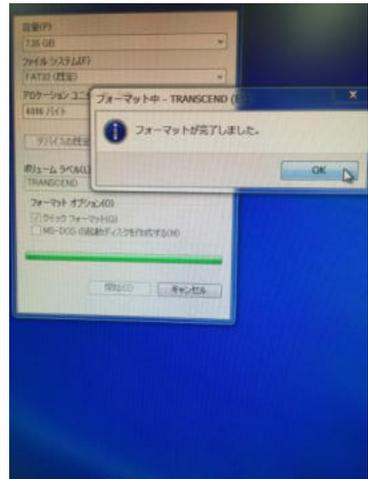
4.「開始」をクリックしてください。



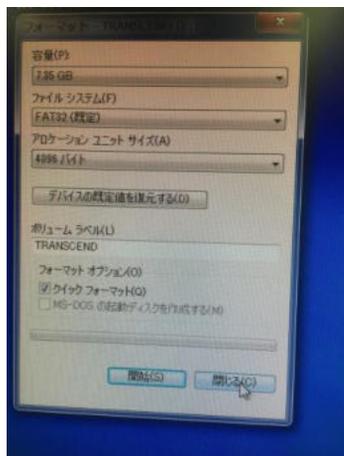
5.「OK」ボタンをクリックしてください。



6.フォーマットが完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。



7.画面の「閉じる」をクリックしてください。



8.windowsのコンピューターから、USBを選択してください。

コンテンツを「Media」フォルダにいれ、フォルダごと、USBにコピーしてください。

